



TOCO-TON 明科

No. 44 R7. 12. 02 発行
TOCO-TON 指導主事

1 明北小3年総合的な学習『安曇野市明科図書館を探検』 11月12日(水)



☆ 明科図書館探検 ☆ 3学年通信から

12日(水)に、明科図書館に行きました。明科図書館の方から児童館が違う場所に移ってしまったために、図書館に来る子どもが減ってきててしまっているので、ぜひ図書館という場所を知ってほしいというお話がありました。子どもたちにもそのことを伝えると、「行きたい！！」ということになったので、伺いました。中には、初めて明科図書館に行く子もあり、とても楽しみにしていました。

明科図書館に着くと、職員の方に案内していただきました。そして早速、図書館の中を案内してもらいました。特別にいつもは入れない閉架書庫にも案内してもらいました。たくさんの本や動く本棚を見て、「すごい！」と感動していました。図書館案内の次は、紙芝居の読み聞かせをしてもらいました。最後に、本探しゲームをしました。資料レシートに書かれているヒントを手がかりに、お題の本を探します。「『児童』って書かれているから、児童書コーナーのところか…」「『874た』って書いてあるから、800、810…」と、夢中になって探していました。本にたくさん触れることができた濃い1時間でした。イベントの紹介もしていただきました。

帰ってきてから、「借りてみたい本がたくさんあった」とうれしそうに話していました。本に親しむきっかけになってくれたらうれしいです。

8月に、職員が明科図書館を訪問した際、館長さんより、来館者数の減少に伴い、子どもたちとのふれ合いを大切に、読書週間に合わせた本に親しむ取組や、タイアップしてできるイベント企画等を考えていきたいとの話を聞きしました。地域図書館の館長さんと子どもたちの願いが重なり、図書館探検が実現しました。

学校からだけでなく、地域事業所の願いから生まれた関わりも大切にしながら、子どもたちの楽しみを広げたり、学びを深めたりしていきたいと考えます。

2 明南小2年生活科『豆腐づくり』

11月21日（金）



生活科で大豆を育ててきた子どもたちが、明科農産物加工ひろば「えべや」から3名の講師を迎えて、豆腐作りを体験しました。

作り方の工程を見せてもらいながら手伝えるところを体験したり、途中途中のポイントで少しずつ味見をさせていただいたりしました。豆腐作りには様々な工程があり、特に温度管理が大切なことを知った子どもたちです。「アイスが溶けているみたい」「絞ると汗が出ているみたい」「今80度だね、ぼくの家のお風呂は40度」「豆腐は冷たいけど、作る時は熱々だね」等々、豆腐ができあがっていく工程での、2年生らしい感想が聞かれました。一人一人、豆腐・おからのサラダ・湯葉巻をいただき、笑顔いっぱいの子どもたちでした。

本年度、明科「えべや」には、児童・職員の「施設見学」、児童が求める「おやき・五平餅・干し芋・豆腐作り等の体験」など、食に関して様々な面でお世話になりました。今後も、子どもたちが求める学びや楽しみのために、地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。

3 明科地域学校協働本部連絡会『第4回定例会』 10月20日（月）

明科地域各種事業所参加のもと、本会議では、園小中高の縦の連携が具体的な「活動」として行われていることや、子どもたちの主体性を重視する傾向が校種を超えて共通しており、保護者や地域講師が各種活動に参加したりサポートしたりする体制が生まれてきていることが共有されました。

事業所からは、公共性が高く独自の提案が難しい面があるため、学校側から「こういうことをやりたい」と提案してもらえば協力・考案したいとのお話をありました。

情報発信の面では、豊かな活動をいかに保護者・地域全体へ「可視化」していくかが、園小中高及び事業所の共通の課題となっています。通信「TOCO-TON 明科」のようなタイムリーな発信に加え、作成した資料を抜粋し、「地域学校協働本部通信」のような形で発信できるようにしていくのもよいとの提案もありました。関係機関がリンクし合い、情報を集約・掲載できる仕組みを検討することも考えていくべきだと思います。